



青森県 五所川原市役所 発行所 28-123-229-537 電話 発行兼 市庁室・広報係 編集人 印刷所 泉印刷社 市の人口 (9月末現在) 男22,025 女22,515 計44,540 世帯7,927

実施は十一月一日

五カ月振りで陽の目見る

胸なで下した両首長

解決の圓滿村分

鶴田町梅田、中泉の五所川原市への分村合併に関する最終協議会は、本市側から外崎市長鹿内市議会議長、新聞総務課長、鶴田町側から渋谷町長、藤田町議会議長、分村派を代表して鈴木運治氏が出席の上、県から横山副知事、小笠原地方課長が参加、三和前任議士を立会人として十日午後三時から県庁で開かれ、四時間に亘る協議の結果、午後七時半に至り遂に次ぎの九項目に完全な意見の一致を見、右協定に対し出席五者の歴史的調印は回遊され、話合による円満解決を見られた。去る五月九日の投票騒ぎ以来九月五日、昨年二月の分村抗争以来一年十カ月振り、両部落の分村が陽の目を見る事になる。なお分村実施は十一月一日となるが、調印終了後の両首長の表情は苦斗の過去を影りきざむ深い額のしわにも喜びが溢れ、ホットした表情で握手を交わし、大伽藍のように静まり返った県庁内の深夜の一室に、一瞬和やかな雰囲気の流れた。

鶴田町の 十月十八日

合併協定事項の全文

梅田、中泉の分村合併協定事項は次のようである
協定事項
鶴田町大字梅田及び中泉両地域を境界変更して五所川原市に編入することを両市町間において自発的に決定することに結んだ。まづ左記事項を協定するものである。
一、梅田中、小学校の建築
二、分村地域に所在する右

物は鶴田町の所有、全校敷地は五所川原市の所有とする
但し全校敷地として五所川原市は昭和三十一年度より向う二十年間鶴田町に貸与するものとする
全期間中においても使用目的変更の場合には解約するものとする
以上の一切の公共用財産
三、分村地域出身の鶴田町役場職員は全員五所川原市が引継ぐものとする

この上ない喜び
関係者の努力に
深い敬意を拂う
泉の分村問題も漸く解決の運びに到ったことはこの上ない喜びである。この問題の円満解決に終始真摯な努力をされた三和前任議士と山崎知事以下の関係者及び

び自治庁に深い敬意と感謝を捧げる。渋谷鶴田町長も随分と苦心されたようだが、今後の町政運営にも大きな悩みが加わる事と思うが、しかしこの問題を県の代執行による住民投票まで持つて行かずに話合いで解決したことは、鶴田町の将来のためにもなるし、又我れ我れとしても今後の隣村合いの上で心にわだかまりを持たないと思う。



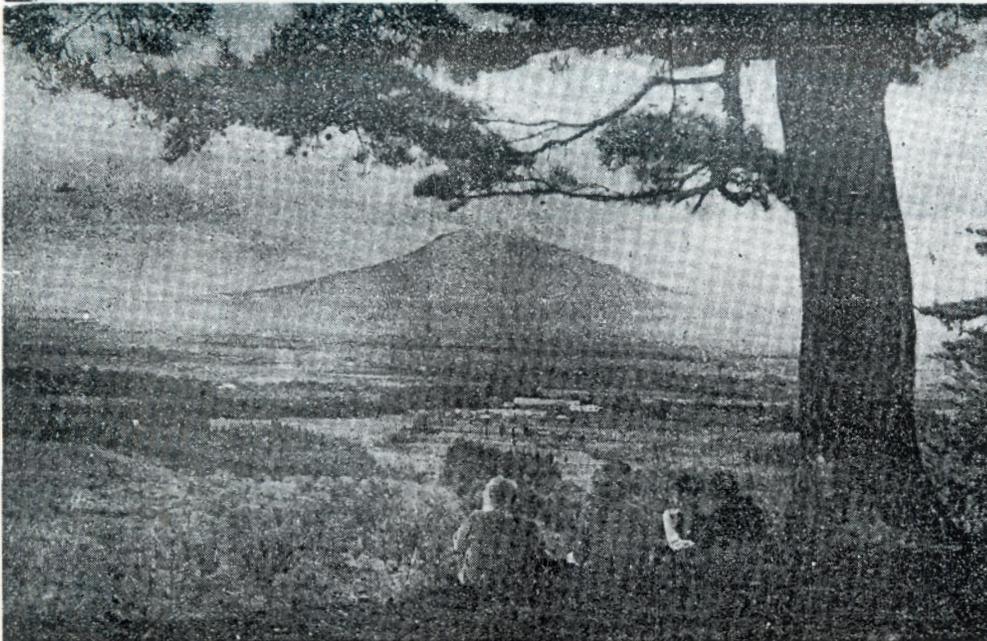
写真一調印終つて握手する外崎市長(左)と渋谷町長

四、大字横池から分家して現在大字梅田の横池寄りに居住している者について分村は、その地域住民の意志によりその地域住民の所有の家屋敷の線をもつて市町の境界線とする
五、梅沢小中学校敷地及び五所川原市議会議事堂として五所川原市は金五百万円を昭和三十一年十二月末

日限り鶴田町に支払うも
七和より市議三名
二十日に合併祝賀會舉行
市政運営上の発言を持たし、自治庁及び県に対し折衝の結果、市の見解に委せたいとの回答があつたので、市からこの旨旧七和村議会議員として三名の代表を求めたところ、次ぎのように回答して来たので、市では十日の臨時市議に諮り承認を得た。これにて市議会議員の数に先きの長富合併による高橋馨氏と併せて三十四名となつたわけである。なお七和合併祝賀會は来る二十日七和中学校で行う事に決定したが、これに先立ち同日午前七和村

六、五所川原市は分村地区内の児童生徒を現在通り、梅沢小中学校に委託するものとする
七、境界変更施行前の諸税は鶴田町のものとし、その後のものは五所川原市のものとする
八、鶴田町は昭和三十一年十月十八日までの間に梅田、中泉地区の分村について議決するものとする
九、施行は昭和三十一年十一月一日とする
右協定する
昭和三十一年十月十日
鶴田町長 渋谷 文男
全議会議長 藤田千保作
五所川原市長 外崎千代吉
全議会議長 鹿内藤太郎
立会人 三和 精一
全青森県知事 山崎 岩男

阿部義夫、阿部清四郎、福士孝一
合併協定書
七和村合併に伴う五所川原市と七和村の合併協定書は次のようになっている
一、合併期日は昭和三十一年九月三十日とする
二、現七和村役場を市役所支所とする
三、一般職員は引続いて市職員として採用、身分は五所川原市職員の例による
四、特別職は必要に応じて市の職員として採用する
五、七和村の長期借および財産については、全額市が引継ぐものとする
六、合併後の七和地区は昭和三十一年度より市の税率を適用する
七、大字、字は従来どおり呼称する
八、国民健康保険について市の条例により実施する
九、合併後消防団の組織について市の条例を適用する
十、当分の間、七和地区農業委員会を設置する
十一、民生委員はそのまゝ市の委員とする
十二、小学校、中学校の学区はそのまゝとする
十三、財産区はそのまゝ存置成して、区議会運営上権限を委ね事務及び会計は支所で処理し、区議会は支所に招集するものとする
十四、大字下石川地区の小中学生の委託問題については合併後五所川原市と浪岡町とが協議して定める
十五、七和高等学校はそのまゝ存置する
十六、七和村議会議員中三名は現五所川原市議会議員に在任中五所川原市議会議員として在任するものとする
なお昭和三十一年九月二十日に七和村議会議員なるもの(大字下石川在住者を除く)は合併後一ヶ月間五所川原市議会議員の参与とする



秋色深〜い津軽路

みらの秋も漸く深く、野面を撫でる風にも、せわしい多への足音が感ぜられる。満山錦繡というにはまだ早い、刈り入れを終った田圃には乳穂が立ち並んで、最早や用済みの牽山子が忘れられたようにポツンと淋しげに立ちすくんでいる。稔りのよいりんご園では、健康そうなりんご色の津軽娘が、りんご園の少女か何かを口ずさみながら再び入れにいそがしい。野も山も全くの秋色、山頂に新雪を綿鳥帽子のように被った岩木山に、落ちかける夕陽が照り映えて、何とも言え得ない美しさである。津軽だけに見られる特異の秋景色であろう。狼野長根にて

原子力産業博を開催

本市空前の大企畫

市制三周年記念事業に

市では市制施行三周年記念事業として、原子力平和産業博覧会の開催を計画、外崎市長が東京都中央関係機関と折衝中のところ、本市の発展と西北地方の原子知識普及を目的とする文化向上のため全面的支援の了解を得たので直ちにこれが実施要綱を作成、青森県と五所川原市共催の形をもつて関係各所に、右開催実施方の申請書を提出することになり、外崎市長は九月定例市議会に右についての主要の報告を行った。この原子力平和産業博は毎年東北地方で、一カ所だけ開催を許可されるもので、後援団体として厚生省、運輸省文部省、通産省、農林省、日本国有林鉄道等の政府機関をはじめ、国立公園協会全日本観光連盟、日本交通公社、国際観光協会、日本温泉協会、陸奥新報社が擁護され、全東北を挙げての大事業化そうというわけである。開催期間は明年八月一日から同三十一日まで

二十万の観客を動員

所要経費一億を豫定

原子力産業博の具体的実施及び会場使用料等の収入で要綱は近く設置される事務十分まかない得る見込であるが検討することになつて、今までの各地の博覧会は居り、とりあえず目下仙台、大休参観者二十万を動員する市で開催中の原子博の状況、れば採算が十分という事を見察のため、佐々木総務課、なつて二十五万の人口と県内長補佐と堀内企画主任が、二日仙台に赴いたが、市の各地からの参観人及び隣県目論見によると、これの所、秋田地方からの入り込みを要経費一億円で、これは国、予想すれば、二十万以上の庫補助金、入場料、寄付金、動員は可能とされ明るい期、地調査を行つた

の一月間、会場は北ノグラウンドと五所川原小学校の二カ所をあて、両会場二十四館に亘る分類展覧を行う豪華な企画となつて、博覧会開催推進の事務局として市役所内に事務局を置き、東京に連絡事務所を設置して清算なきを期すことになつているが、博覧会への出品は全国一流メーカーを網羅し、諸外国からの出品も予定され、次ぎのような分類によつて展示される

- 一、産業資源館
- 二、近代工業館
- 三、テレビ館
- 四、原子力館
- 五、生活化学館
- 六、少年科学館
- 七、保健衛生館
- 八、観光文化館
- 九、温泉パノラマ館
- 一〇、農水産館
- 一一、観光物産館
- 一二、専売館
- 一三、潜水海女館
- 一四、貿易館
- 一五、国立公園パノラマ館
- 一六、外国観光パノラマ館
- 一七、近代交通館
- 一八、大東京館
- 一九、宇宙飛行館
- 二〇、太陽館
- 二一、電気館
- 二二、南極探險館
- 二三、宗教館
- 二四、演芸館

待が持たれている

ダイヤ改正は明年二月

ダイヤ運行は明年二月

五能線のダイヤ改正は、計画は国鉄が車両の完成次第実施する事になつて、が、十七日大綱で開催の五能線関係部長会議に出席の秋鉄局営業部長は、通勤通学列車増発陳情の五所川原ダイヤ改正は、明年二月から運行の予定であると語つた、また海岸留所の設置について十八日秋鉄当局が現

話題 東西南北



山中に市の標識

長富、七和の合併で市域もべら橋に拡大され、その面積が一六一、六九平方キロと延び、人口密度も六市中、一番高い大市となつた東は青森市に接し、北は木造、南は弘前へ一と歩き、大沢通から前のダンダ坂を上つて約二キロの左手道路傍に写真のような標識が消防署の手で立てられ「ホウキも五所川原ですかい」と行人の目をとどめていく

飛鳥氏の還暦祝

前市議会議長飛鳥氏は、この日は、この日を迎えたので十六日午前十一時から駅通サロンドで還暦祝を行った、市内名士多数出席、目出度い華甲重達を祝した

ダイヤ改正陳情

五所川原地方から弘前方面への通学通勤者が、列車ダイヤの関係で早朝五時五十分の始発を利用する以外途がなく改正の要望が強く、去る十日外崎市長三上商議所副会長等が秋鉄局に赴き右改善方の陳情を行つた

駅の上屋架設

大火で焼失以来裸のまま放置されていた五所川原駅ホームの上屋は、十年目で、目下下支台の基礎固めを行つて、市六、長さ六十二米で総予算二百四十万、十一月末までに完成の予定であるが、この上屋架設で最近急激に増加している乗降客は大きな利便を受け、五能線唯一のホーム上屋を持つ駅として西北の首都の面目を保つ

市庁舎増築完成

市では行舎が狭隘を告げて来たので本館東側消防署寄りに鉄筋三階建四室を増築中であつたが、この程竣工、近く引渡しが行われる、竣工

コーラス日本一

去る十二日から十五日まで東京で開催された全国青年祭に本市から参加した笹原夫先生(五所中)引率の青年団コーラス(女十男六)が最優秀の栄誉「ちよよま」を手にした

工費三百四十万円で一階は

福祉事務所、二階市長室、三階は市長企画室が入る予定で、十一月一日移転する(写真は出来上つた新館)

五能線のダイヤ改正

計画は国鉄が車両の完成次第実施する事になつて、が、十七日大綱で開催の五能線関係部長会議に出席の秋鉄局営業部長は、通勤通学列車増発陳情の五所川原ダイヤ改正は、明年二月から運行の予定であると語つた、また海岸留所の設置について十八日秋鉄当局が現

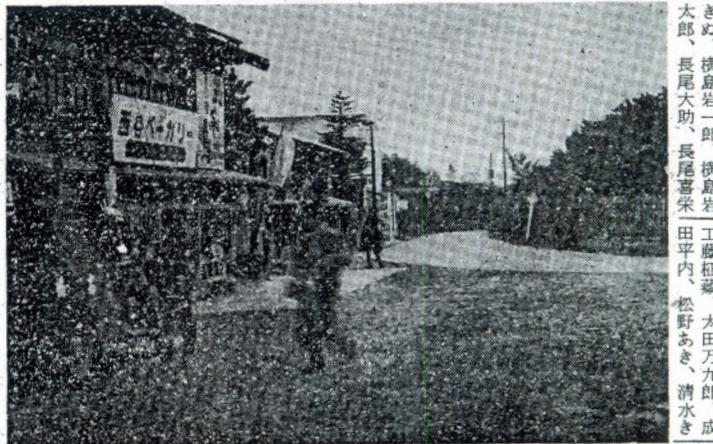
市税納期 前納付者 九月中

- 五所川原地区(八八名) (一部地区未報告) 山崎辰五郎、成田健吉、船水盛次郎、沢田誠三、帯川山川良一、尾崎金造、佐々木清、菊地豊久、工藤謙、岩木川栄次郎、五所川原運送株式会社、境谷正一、伊藤泰一、斎藤慶吉、山川四郎、岩谷善一、佐々木勝義、小坂惣三郎、外崎栄吉、福井伝次郎、井沼清三郎、飛鳥ト、毛内茂助、中村伸太郎、飛鳥孝英、井沢征雄、原田金蔵、松本勝、成田健吉、工藤重造、尾崎源吾左エ門、米木ツネ子、平山泰三郎、佐田剛、小野雄蔵、木村長四郎、宮崎幸子、野呂卓造、宮崎豊吉、玉田タマ、工藤定市、秋元真太郎、船水リエ、斎藤秀司、高松久作、小島久雄、山上敬夫、柳田とし、伴弘、小山田風雄、飛鳥駒五郎、三浦龍一、小山内賢造、菊地松雄、藤田富雄、長尾勝海、宮越三四郎、坂本栄三、工藤豊吉、高瀬タカ、松本善三郎、成田五郎、成田ナル、鶴谷正次、藤田清、石沢秀五郎、佐藤藤夫、菅原吉郎、飛鳥祐三、釜澤銀三、谷藤とし、山本善次、平川甚四郎、寺田健、佐藤伝太、佐々木喜郎、須藤力太郎、小山内貞雄、小田桐勝義、斎藤秋男、川浪善作、川浪由吉、栄地区(一一三) 山田多作、木村リサ、木村西造、木村正三、平山友次郎、平山広三、平山喜啓、斎藤手代吉、中村建次、木村久五郎、平山千恵、山田尚善、山田多作、長橋地区(三四名) 須藤運藏、太田喜次郎、斎藤九郎、石岡武四郎、片岡勇吉、沢田国貞、斎藤良男、松野辰巳、松野マサ子、片岡喜代志、葛西清太郎、葛西利巳、乳井善雄、乳井

よい暮しへの途 貯蓄の心懸け持とう

十月十七日は貯蓄記念日です。貯蓄の重要性は今更にうまでもありません。国の経済、県市の経済、ひいては我が家の経済を磐石の安きに置くため貯蓄は今や不可欠のことの出来ないものとなりまして、農家の皆さんも、そして主婦の方々も、我が家の経済基礎の確立のため、生活に工夫をこらし、貯蓄することにとつて、

明らかに、貯蓄から、わたしたちが、心にゆとりをもち、楽しく明るい暮らしをするには、まず健康で働くとともに、くらしの設計を計画的にたてて貯蓄につとめることである。貯蓄は、みなさんの楽しい夢を、必ず実現して呉れます。幸い今年はお米も、りんごも、お魚も沢山とれるようです。それだけ、われわれは、まだタンスの中に入れておき、お金のままにしておくよりも、今年こそ、本年産の増加目標額五十五億円を、是非突破したいものと志願しております。そして、お金の流れ、泥濘にまみれ



第四次自衛官募集について 募集要領 一、募集人員二等陸士約七〇〇〇名 二等海士約九〇〇〇名 二等空士約三〇〇〇名 二、募集日程 昭和三十一年九月一日から昭和三十一年九月十五日まで 三、試験期間 一、願書受付期限 昭和三十一年九月一日から 二、試験期間 写真二合併した七枚の寸法通り原稿を、子商店街三叉路

納税強調期間 末納税はお早く 市役所では十月十日から十二月二十五日までを納税強調期間と定め特別対策本部を設けて強力に滞納整理をすすめております。市民の皆さんには、もし未納税金があり、若し未納税金が早くお納め下さい、最悪の場合でも十二月廿五日までには是非完納して下さい。是非お願い致します。 五所川原市役所

よい暮しへの途 貯蓄の心懸け持とう (Continuation of the previous article) 元も子も無くなつてしまひ、みなさんの大切なお金は、手におかないで、正規の金融機関に預けておき、元も子も無くなつてしまひ、みなさんの大切なお金は、手におかないで、正規の金融機関に預けておき、

お米などの代金 はひとまず貯蓄 昨年は予約売渡によつて、全く思い掛けない時期に、十四億円のお金が手に入りました。それに今までの無い豊作で、予想外に沢山の改善や、平素考へてお

市民税(個人) 健康保険税 各三分 法人の市民税のうち昭和三十一年八月中に事業年度を終了した法人は法人税割と均等割を十月三十一日まで申告し納付して下さい。 法人税割(法人税額)の百分の九・七 均等割(四月から八月まで八三〇円) 市税は納期限を過ぎると督促状を発付し延滞金(百円)につき一日三円、督促手数料(一通二十円)を徴収されますから納期限までに必ず納付するようにして下さい。

一、医官及歯科医官について 医官、陸上一二〇名 海上五〇名 航空四四名 歯科医官陸上二〇名 海上八名 航空五名 募集期間昭和三十一年三月末まで常時募集 二、幹部候補生(一般技術) 陸上五〇〇名 海上二〇〇名 航空三三〇名 募集期間、昭和三十一年九月一日より全年十月三日まで 三、陸曹について 採用人員約二〇〇名 募集期間幹部候補生と全し 四、備考 詳細については自衛隊青森地方連絡部若しくは地方課外事係に照会せられたい